

情報公開の内容

課題名：頭部 MR 画像を用いた転移性脳腫瘍のフォローアップ支援システムの開発

研究の目的：

当院では、MR 検査の画像から転移性脳腫瘍を自動的に見つけ出して、治療の前後で腫瘍大きさや数などがどのように変化したかを正確に示し、医師の診断を支援するソフトウェアを開発しています。本研究の目的は、過去に撮影された脳転移患者の MR 画像およびカルテデータを使用して、新たに開発したソフトウェアの性能を検証することです。

本研究の対象：

本研究の対象者は、転移性脳腫瘍で、当院において平成 24 年 2 月 29 日～平成 25 年 3 月 31 日の間に既に脳転移と診断されており、さらに頭部の造影 MR 検査を複数回受けられた患者さんです。

意義：

転移性脳腫瘍では治療方針を決める上で、MR 検査で正確に病変の大きさ・個数・形状を把握することが重要です。経過観察の際も、治療効果の判定や再発の有無を知るためにこれらの情報は重要です。本研究により、転移性脳腫瘍の治療計画と治療効果の判定精度が向上し、医師の診断精度が向上することが期待されます。

方法：

過去に撮像された頭部の造影 MR 画像データに対して、当院で開発したソフトウェアを適応し、その性能を検証します。

研究機関：

広島大学大学院医歯薬学総合研究科及び病院
広島国際大学
広島市立大学

本研究への参加と個人情報の保護：

本研究への参加を拒否されても何ら不利益は生じません。

本研究に参加することで特別な謝礼等の資金援助はありません。

学会や論文発表は個人情報を完全に匿名化して行われますので、個人情報が漏えいすることはありません（名前、ID、イニシャル、生年月日は記載されません）。

問い合わせ・苦情等の窓口の連絡先：

所属： 広島大学 大学院医歯薬学総合研究科
職名： 教授
氏名： 栗井 和夫
電話番号： 082-257-5257